

大会報告



第5回品質工学技術戦略研究発表大会報告

RQES 2012 企画委員会

2012年11月16日(金)、星稜会館ホールにおいて第5回品質工学技術戦略研究発表大会を開催した。「品質工学会 20年のまとめとこれから」を大会テーマに、研究発表6件とパネル討論会を実施した。大会参加者は119名で、成功裏に終了した。参加者および発表者に感謝するとともに大会の報告をする。

研究発表の概要報告は各研究発表論文著書の執筆によるアブストラクトを紹介する形として、そのあとにQ & Aを追記した。また最後に大会アンケート集計結果についても報告する。

開催にあたって

技術戦略研究発表大会(秋の大会)は今回で第5回目となる。品質工学会の研究発表大会は例年春(6月)に行なわれ、さまざまな内容の研究発表・事例報告・新手法の提案及び模索、提案などが行なわれる。春の大会は、発表等の質にあまりこだわらず、会員相互の勉強の場といった性格が強い。品質工学会としては、この他企業交流会を開催し、近年は単なる企業交流というより、比較的大きなテーマを掲げて突っ込んだ議論の場を設けるようになってきている。しかし、参加者の層と人数が限定され、必ずしも学会を挙げての意見交換の場にはなっていない。このような状況を踏まえ、秋の大会では、田口玄一の「品質工学は技術戦略である」という主張に沿って、品質工学をものの本質を評価するという新しい学問体系として再構築しようという意図で企画、開催されるものである。

プログラム

総合司会：産業技術総合研究所 小池昌義

開会挨拶：品質工学会会長 伊藤源嗣

研究発表1 品質工学研究の変遷と発展(2)

Hamada Quality Solution 浜田和孝
応用計測研究所(株) 鴨下隆志、矢野 宏

研究発表2 金属材料評価方法の検討

いすゞ自動車(株) 衛藤洋仁

研究発表3 診療・教育・研究分野での、MTシステムを用いたEvidence-Based Medicineの実践

東京慈恵会医科大学 中島尚登

日本大学 矢野耕也

東京慈恵会医科大学 長澤薫子、小林英史、横田邦信

日刊工業新聞社 田井 茂

研究発表4 街づくりにおけるMTシステム活用の可能性

吉野不動産鑑定事務所 吉野荘平

東京大学先端化学技術研究センター 遠藤 薫

(株)まちづくり工房風舎 中井基博

吉野不動産鑑定事務所 吉野 伸

研究発表5 田口玄一の主張とその実践的社内展開の研究

(株)IHI 小木曾元一、高松喜久雄、山崎佑希

研究発表6 技術フォーカスと知識構造に関する研究

一田口のオンライン品質工学の確率課程からの知識構造化私案—

クオリティ・ディープ・スマーツ有限責任事業組合 吉澤正孝